Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：里山の物質循環―燃料・肥料・食料から考える― ILAS Seminar :Matter cycling of SATOYAMA ecosystem from a viewpoint of fuel, fertilizer and food	**Instructor's name, job title, and department of affiliation**	Field Science Education and Research Center Professor,TATENO RYUNOSUKE		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	**Number of credits**	2	**Hours**	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	**Year/semesters**	2025・ Intensive, First semester	**Quota (Freshman)**	12 (12)
Target year	Mainly 1st year students	**Eligible students**	For all majors	**Days and periods**	Intensive TBD
Classroom	(North Campus)			**Language of instruction**	Japanese
Keyword	里山 / 物質循環 / 生態学 / 持続可能性 / 森林科学				

[Overview and purpose of the course]

このILASセミナーでは、身近な自然から地球規模での課題についての理解を深めることを目的として、里山での物質循環の観点から燃料・肥料・食料の持続可能性について考えるための知識を習得し、関連する体験を通じて考察します。事前学習の講義では、里山生態系の特徴や生態学における物質循環の考え方や調査方法について学びます。さらに、京都市郊外に位置する上賀茂試験地において、都市近郊の里山において、フィールド実習を行います。フィールド実習では、物質循環研究に関連した土壌調査や植物調査を行うとともに、下草刈り、炭焼、シイタケの駒うちなど里山での作業体験を行います。さらに、取得したデータや既存のデータ等を活用して、また様々な作業の実体験を元に、里山の物質循環や燃料・肥料・食料の持続可能性について総合的に考察を行います。

[Course objectives]

里山生態系の特徴を理解する。
生態系の物質循環の考え方を理解する。
物質循環に関する基本的な調査方法をフィールドワークを通して理解する。
里山での作業について理解する。
持続可能性について、物質循環の観点から考察する能力を身につける。

[Course schedule and contents)]

1.ガイダンスおよび里山生態系の特徴
2.里山生態系の物質循環
3.里山生態系の資源循環
4-7.里山でのフィールドワーク
（土壌調査、植物同定、植物調査、バイオマス調査）
8-11.里山での作業体験
（伐採、炭焼、下草刈、駒うち）
12-14.里山での燃料・肥料・食料に関するワーク
（燃料・肥料・食料に関する現地調査・文献調査）
15.討論：燃料・肥料・食料の持続可能性について考える

1は、４月25日の5時限目後の時間帯でフィールド研会議室（北部構内・農学部総合館）で行い、2-15に関しては、上賀茂試験地（京都市北区）で３日程度の集中講義で行います。

Continue to ILASセミナー：里山の物質循環―燃料・肥料・食料から考える―(2)↓↓↓

ILASセミナー ：里山の物質循環－燃料・肥料・食料から考える－(2)

開講日は4月26日、8月7日、8月8日を予定しています。

実習場所：
京都大学フィールド科学教育研究センタ里域ステーション 上賀茂試験地
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山
Tel:075(781)2404
https://fserc.kyoto-u.ac.jp/kami/

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点評価（授業への参加状況）…60点
討論への積極的な参加…20点
レポート…20点

で総合的に評価します。

[Textbooks]

プリント配付

[References, etc.]

（References, etc.）
石井弘明、徳地直子、榎木勉、名波哲、廣部宗編 『森林生態学』（朝倉書店）ISBN:978-4-254-47054-3

[Study outside of class (preparation and review)]

講義内容をしっかりと復習して、屋外での活動や討論に積極的に参加できる準備をして下さい。

[Other information (office hours, etc.)]

（1）学生教育研究災害保険、附帯賠償責任保険には必ず加入しておいて下さい。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談してください。
（2）費用は特に発生しません。ただし、上賀茂試験地までの交通費や実習中の食事や飲み物などは各自で負担してください。
（3）PandAやメールで本実習に関する連絡が届きますので、見落とさないようにして下さい。

[Essential courses]